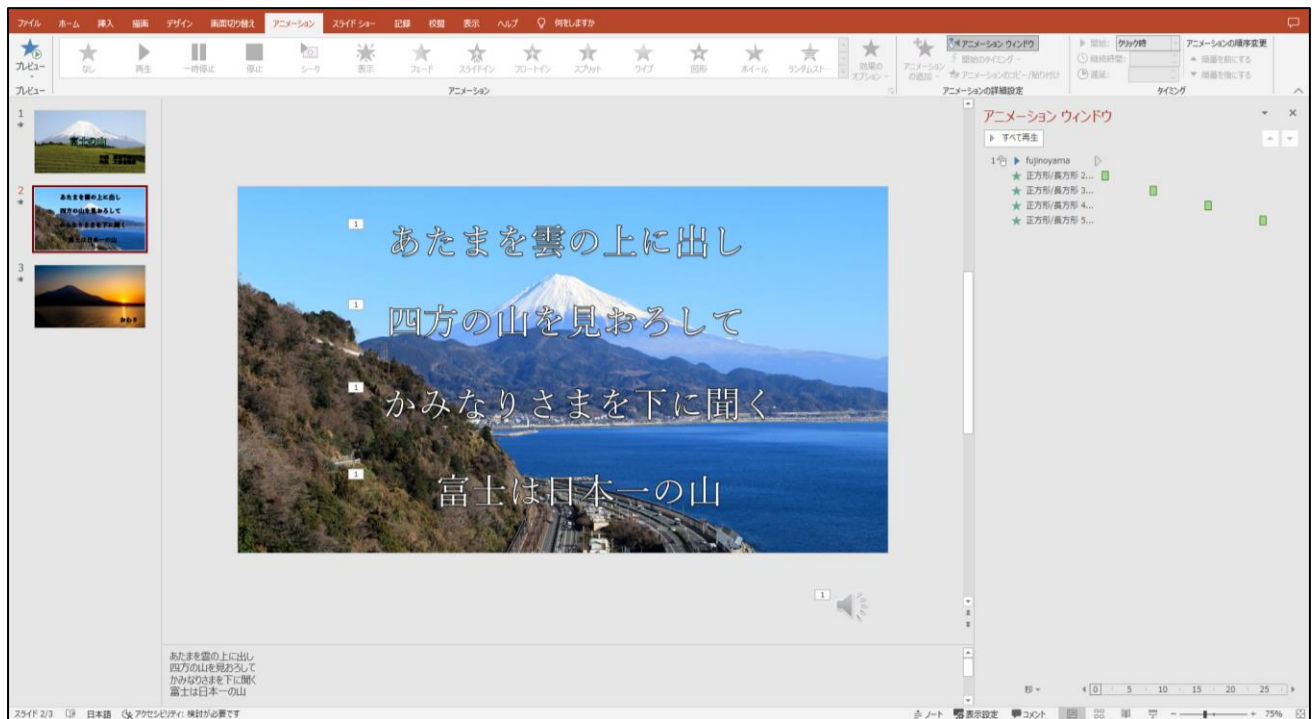


歌詞の表示について

1. 曲の合わせて歌詞を表示させる

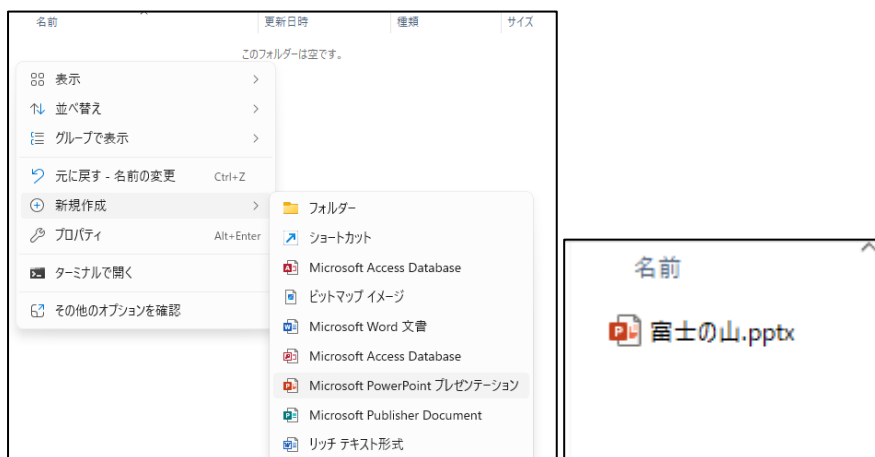
曲に合わせて歌詞をフェードで表示させる



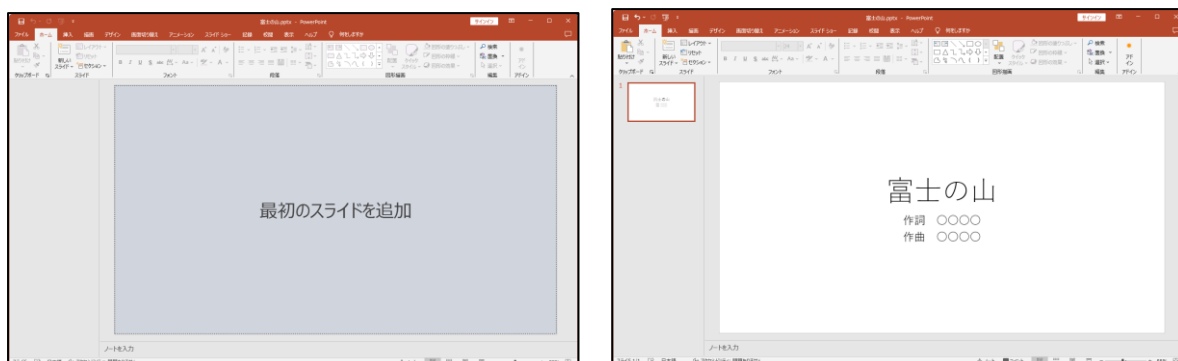
♪ = 1 2 0 の場合、6 0 秒で四分音符が 1 2 0 個なので、4 分音符 1 つで 0. 5 秒。1 フレーズ 4 小節だから $4 \times 4 = 1 6$ 個 $\times 0. 5$ 秒 = 8 秒となり、8 秒を目安に表示させていけばよい。

<作り方>

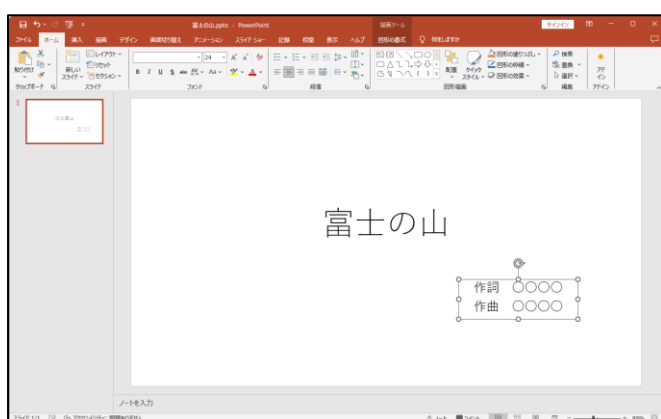
1 - 1 任意の場所に PowerPoint のファイルを作り、ファイル名を「富士の山」とする



1 - 2 1 ページ目にタイトルと作詞、作曲を入力する。



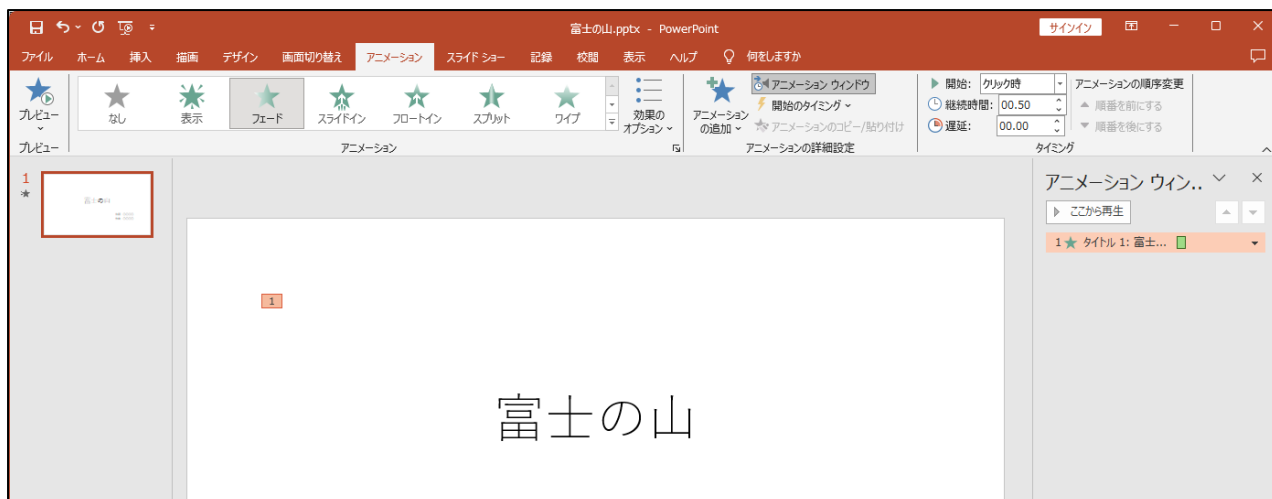
枠を狭めて右下に配置する



1 - 3 アニメーションタブを選択して、アニメーションウィンドウボタンを押す



1 - 4 タイトルを選択して、「フェード」を選択する



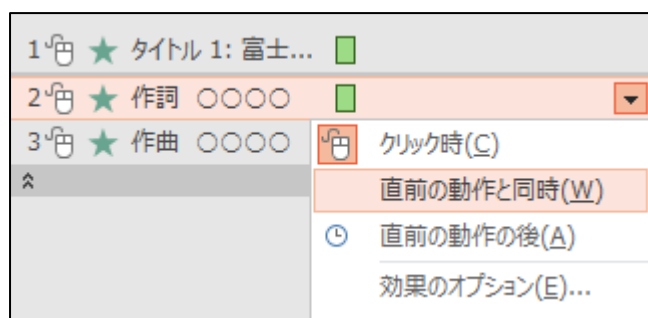
同様にサブタイトルに「フェード」を設定する



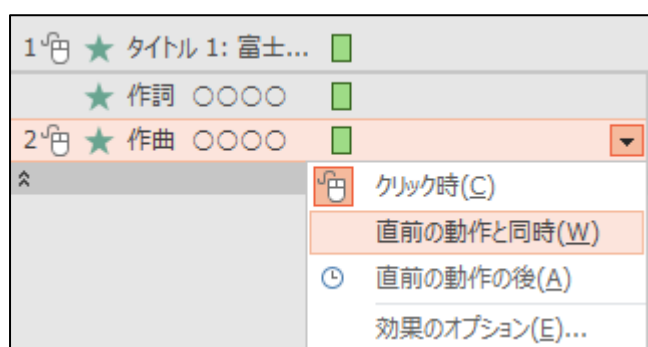
1－5 アニメーションウィンドウの幅を広げて、2つ目のアニメーションの下のバーを選択して展開する



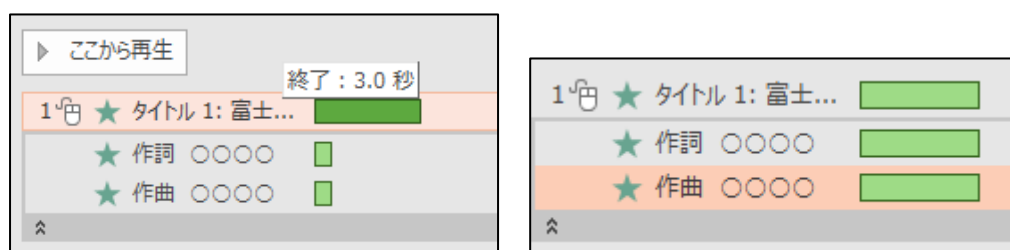
1－6 2つ目の作詞を右クリックして、直前の動作と同時を選択する



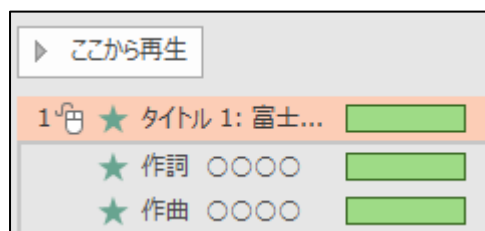
同様に作曲を右クリックして、直前の動作と同時を選択する



1－7 右側のバーの右端をドラッグして、幅を変え、同様に作詞、作曲の幅を変える



1－8 タイトル1を選択して、ここから再生ボタンを押す



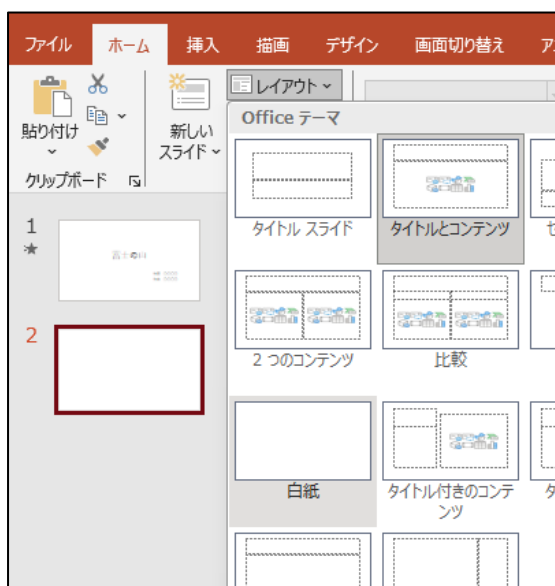
1 - 9 3秒かけて、タイトルと作詞、作曲が表示される



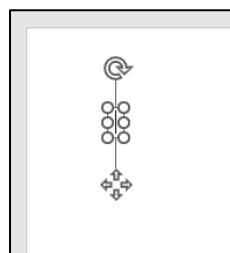
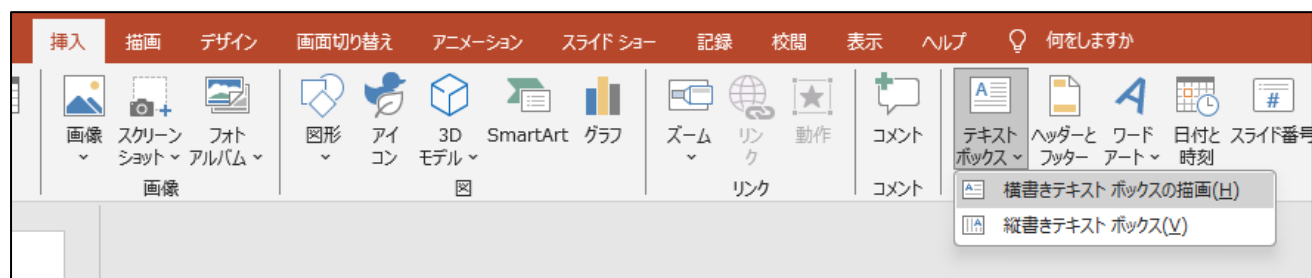
1 - 10 左側の1ページ目のサムネイルの下で右クリックして、新しいスライドを選択する



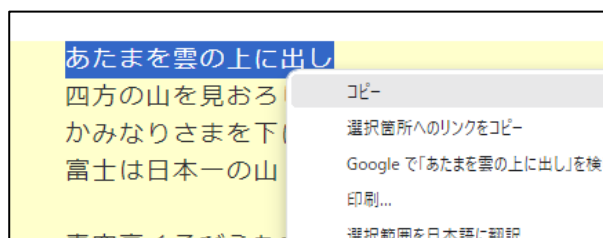
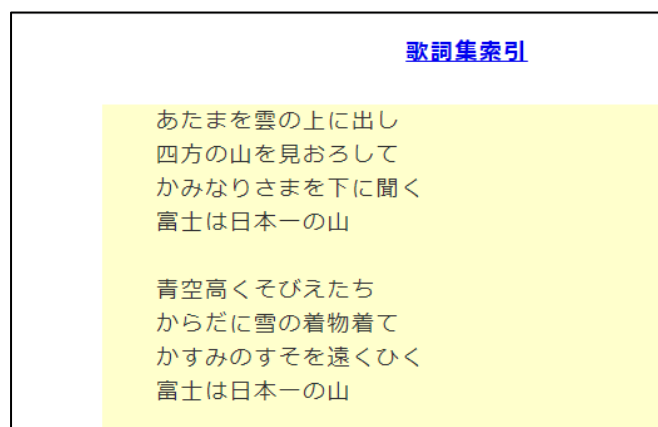
1 - 11 ホームタブのレイアウトボタンを押し、白紙を選択する



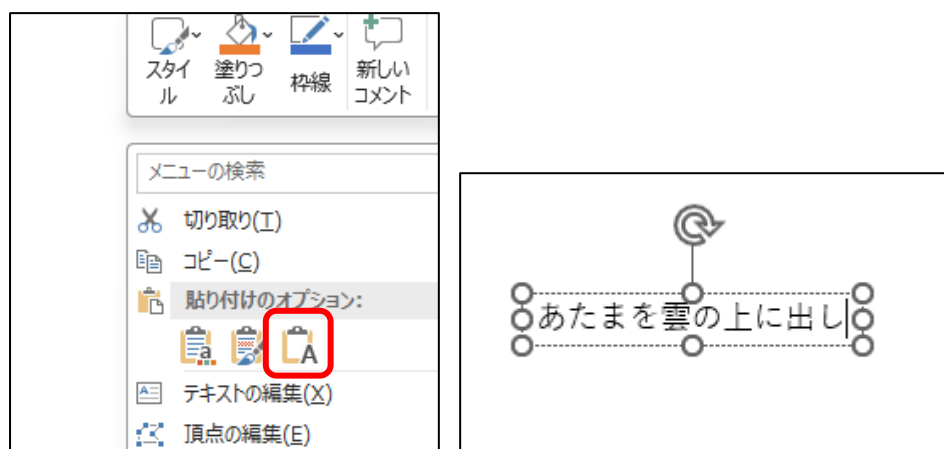
1-12 挿入タブのテキストボックス、横書きテキストボックスを選択して、ページ上でクリックするとテキストボックスが挿入され、文字が入力できる。※この操作をしなくても、ブラウザで文字が選択できるなら、文字をコピーして貼り付けたときに、テキストボックスが挿入される。



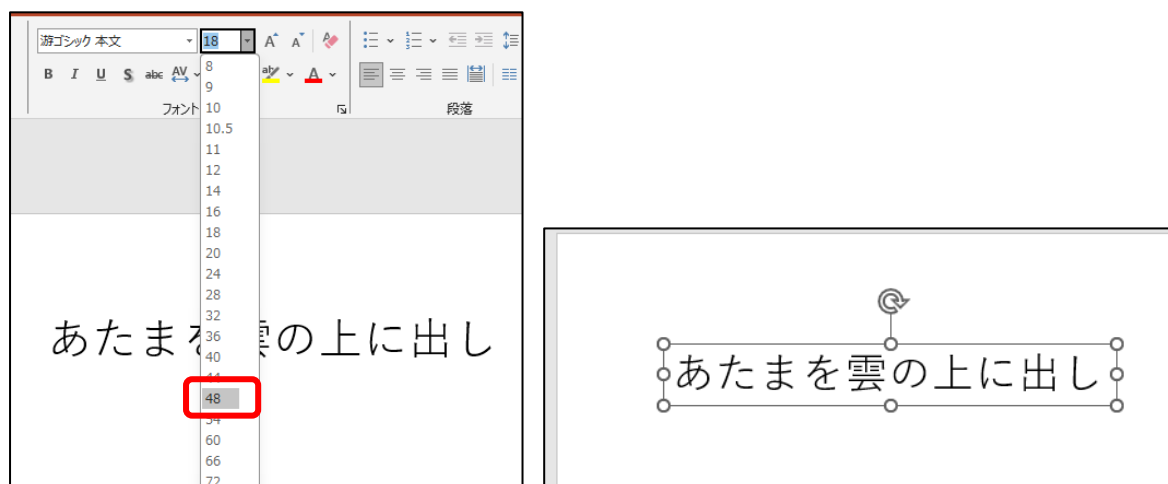
1-13 検索エンジンで検索して、1フレーズをコピーする。コピーできないときはテキストボックスを挿入して、自分で入力する。



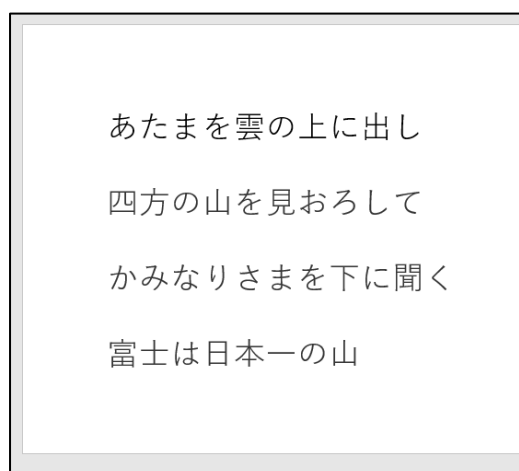
1-14 テキストボックスの中で右クリックして、貼り付けのオプションの「テキストのみ保持」を選択して、文字情報だけを貼り付けをする。※そのまま貼り付けると他の設定（ここでは、黄色い網掛けの情報）がコピーされる



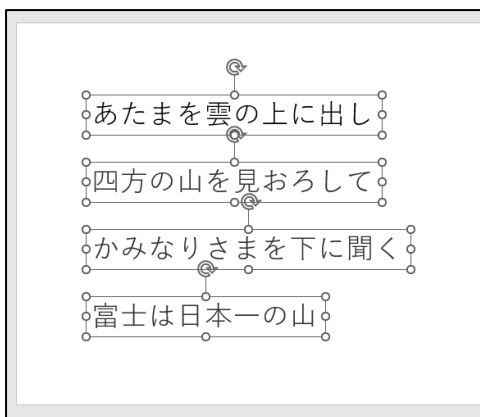
フォントサイズを大きくして見やすくする。



他のフレーズも、同様に作る



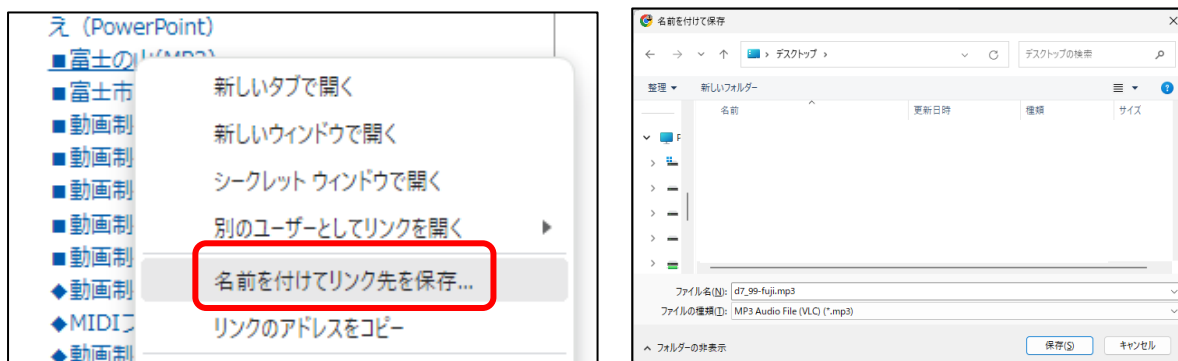
1-15 1つ目のフレーズを選択した後、Ctrl を押しながら他のフレーズを同時に選択する



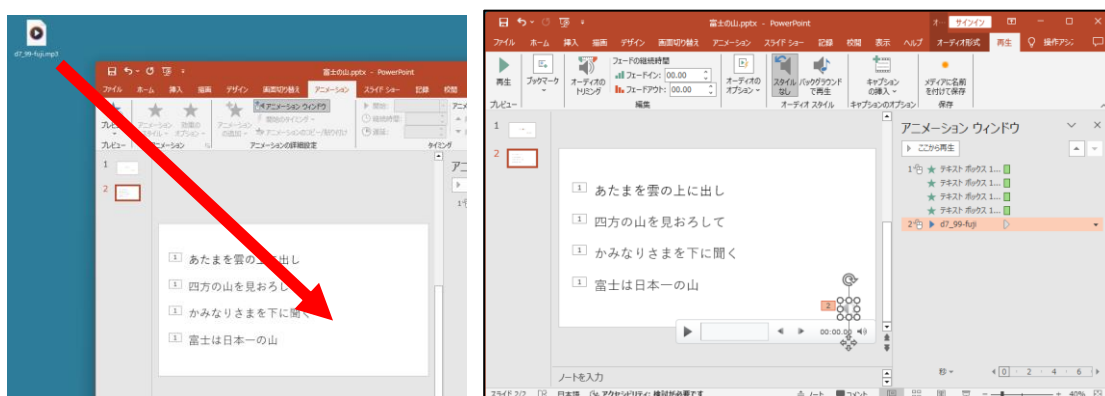
1-16 アニメーションのフェードを選択して、すべてのフレーズにフェードのアニメーションを設定する



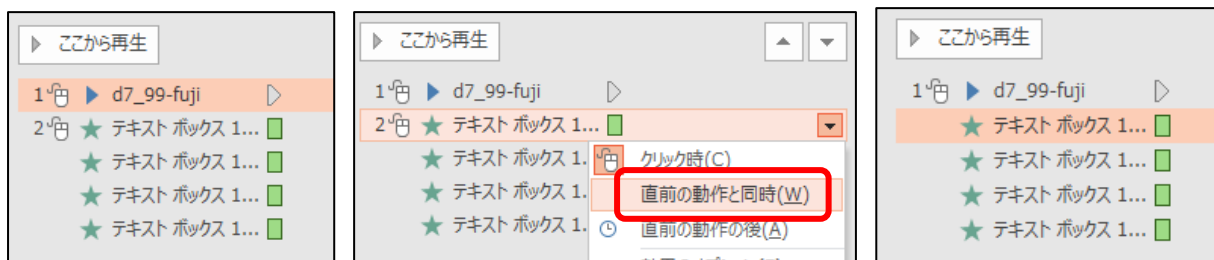
1-17 MP3 ファイルを準備する。ここではホームページ onju 内の「富士の山 MP3」の上で右クリックして、名前を付けてリンク先を保存を押し、デスクトップに保存する。



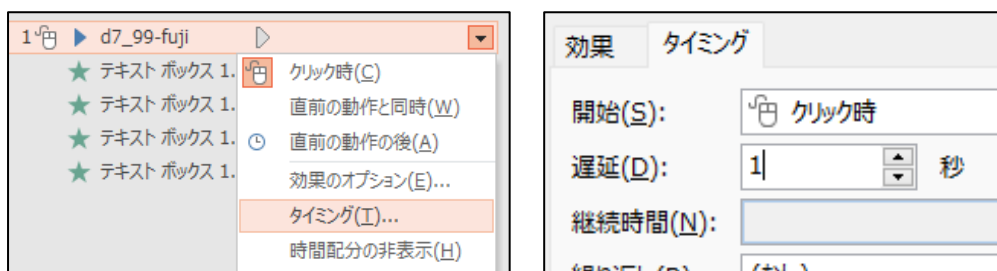
1-18 ダウンロードした音楽ファイルをスライドにドラッグ&ドロップする。



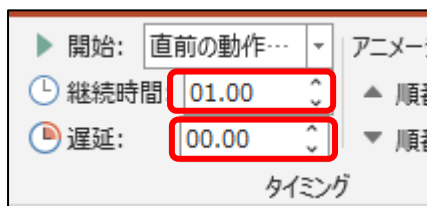
1-19 音楽のアニメーションを一番上にして、テキストボックスの上で右クリックして、直前の動作と同時を選択する



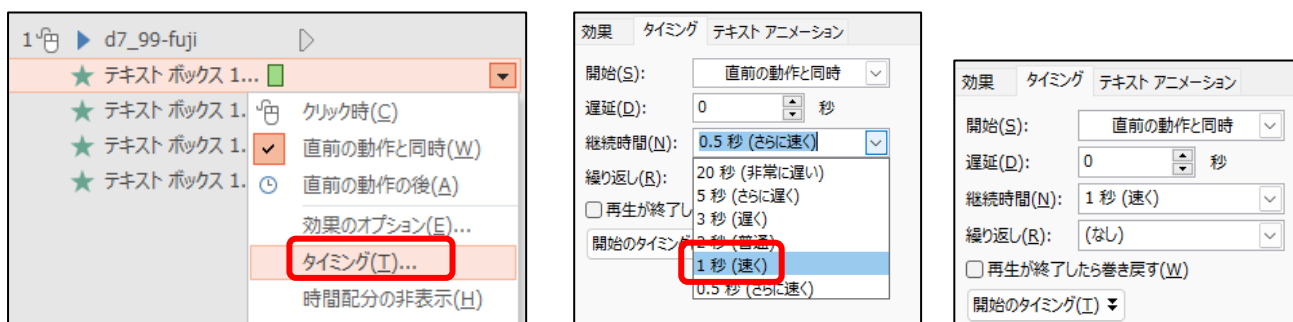
1-20 曲のアニメーションの上で右クリックして、タイミングを選択し、遅延を1秒にする



※アニメーションのリボンの右側のタイミンググループの設定を変えてもよい。



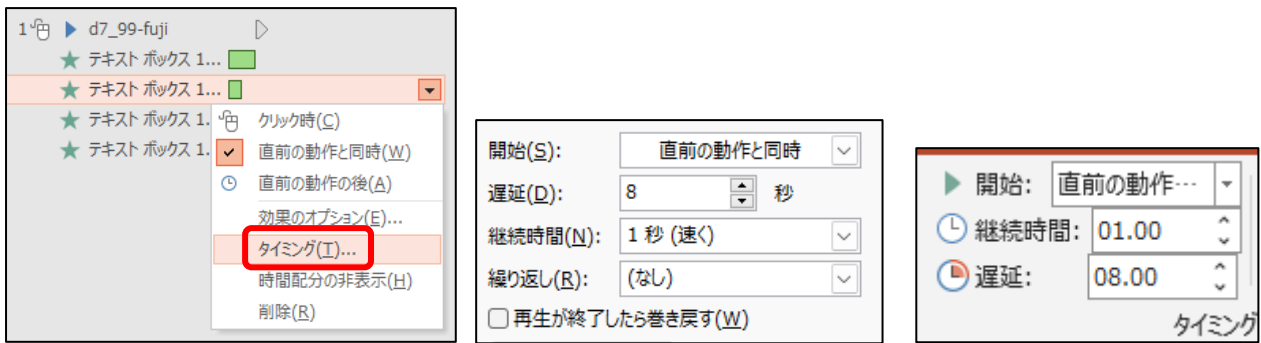
1-21 曲の設定と同様に、1つ目のテキストボックスの継続時間を変える。アニメーションの設定の上で右クリックしてタイミングから設定するか、リボンの継続時間で設定する。



これで、1フレーズ目が完全に表示された時に、音楽が演奏される



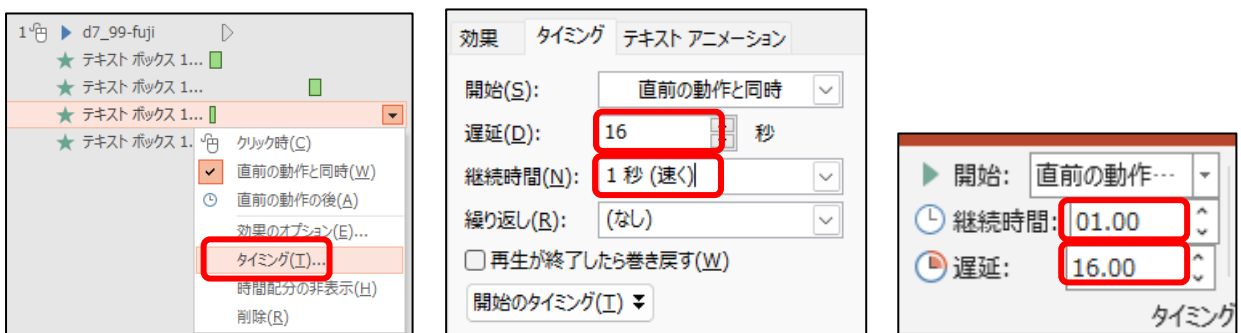
1 - 2 2 2 フレーズ目の設定は、遅延が 8 秒、継続時間は 1 秒にする



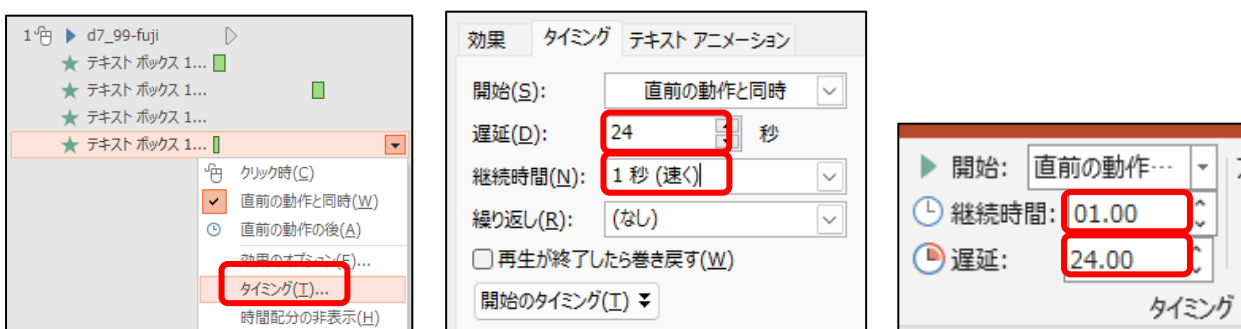
※バーが画面からはみ出て見にくい場合、秒のところをクリックして「縮小」を選択する



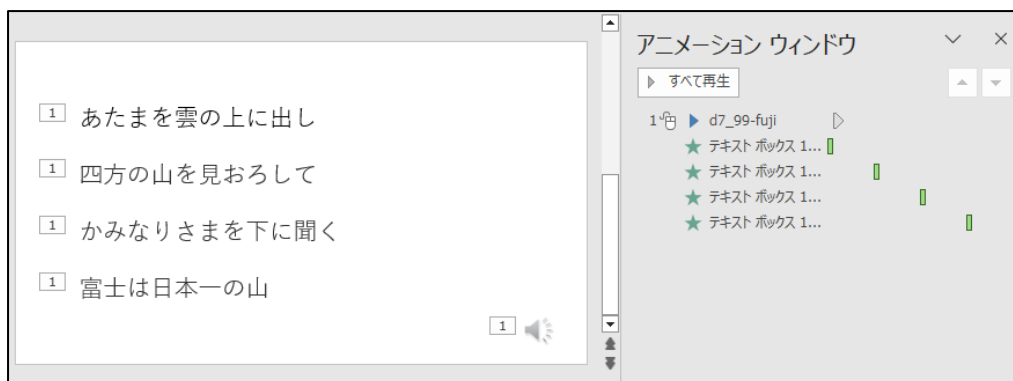
1 - 2 3 3 フレーズ目の設定は、遅延が 1 6 秒、継続時間は 1 秒にする



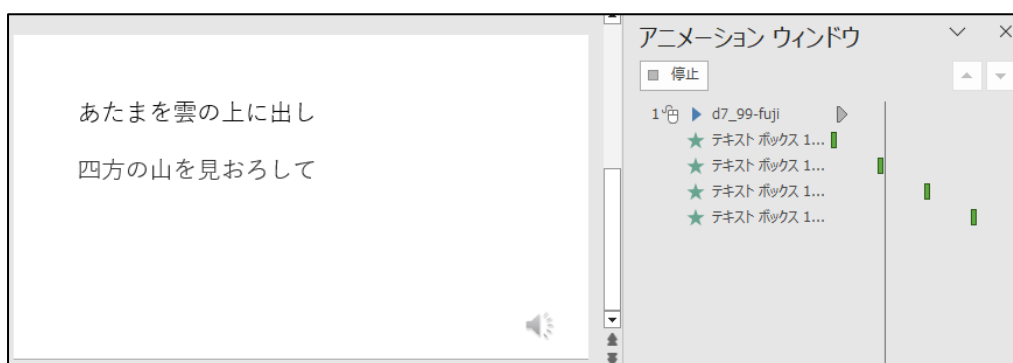
1 - 2 4 4 フレーズ目の設定は、遅延が 2 4 秒、継続時間は 1 秒にする



※縮小して全体を表示させる



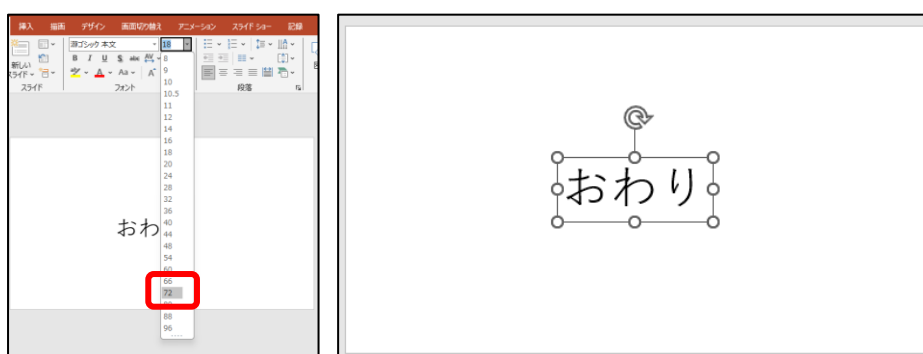
1-25 曲を選択して、すべて再生を押して確認する



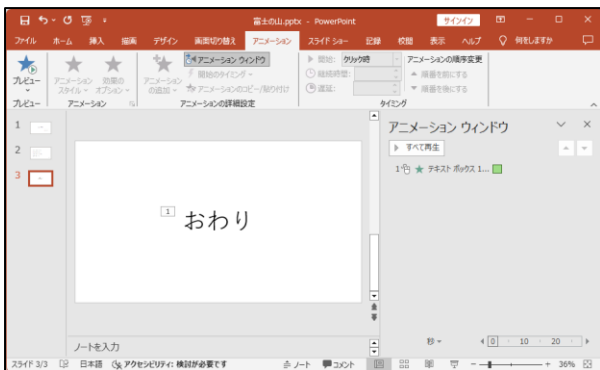
1-26 左のサムネイルの下で右クリックして新しいスライドを選択して、3 ページ目を作る



1-27 「おわり」のテキストボックスを挿入して、



1 ページ目と同様にアニメーションを設定する



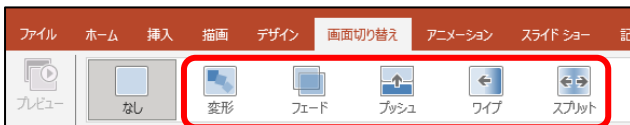
(+ α 1) ワードアートを設定する

テキストボックスの文字では物足りないときは、挿入、ワードアートから一つ選んで、ページをクリックする。光彩を使ってぼんやり光らせたり、変形を使って曲げたりできる。

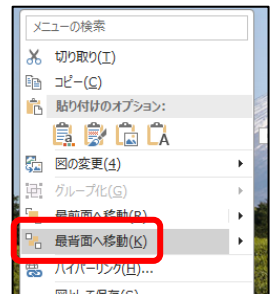


(+ α 2) 画面切り替え効果を設定する

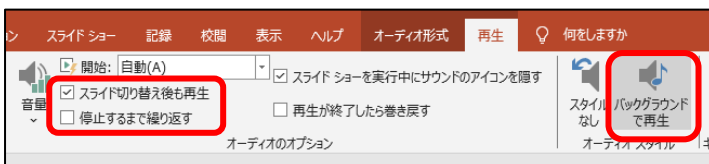
画面切り替えタブから、画面を切り替えるとき何らかの効果を設定して切り替える。



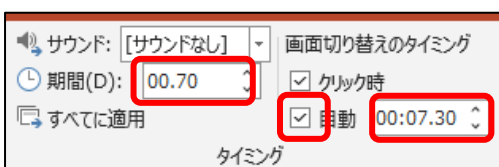
このまま切り替えてもほとんど変化がないので、ページに画像を組み込む。画像は背景に組み込む方法とテキストボックスと同じようにページ上に挿入する方法がある。挿入した場合、文字を覆ってしまうので、右クリックして、最背面へ移動にする。



ページを変えると音楽が停止してしまうので、スピーカーの絵を選択して、切り替えてもいように「バックグラウンドで再生」を押すか、「スライド切り替え後も再生」にチェックをする。1回演奏させて終了させたいときは、「停止するまで繰り返す」のチェックを外す。



自動でページを切り替えるときは、自動にチェックを入れ、切り替え効果の時間と自動の横の時間を足した時間が1フレーズの場合8秒なるように設定する。

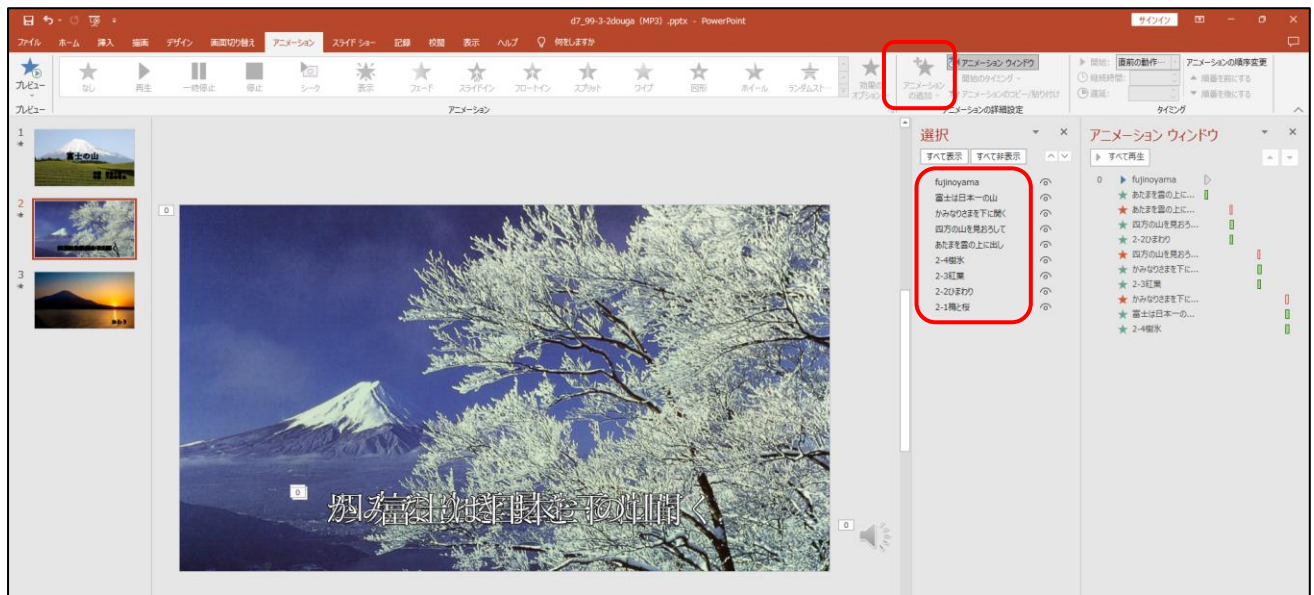


2. フレーズごと、アニメーション機能を使って、画像と歌詞を切り替える

画像を上にもなるように配置しておき、曲に合わせて画像を表示させて、切り替える。スライド上では選択しづらいので、編集グループの「選択」ボタン「オブジェクトの選択と表示」を押して、それぞれのテキストボックスに名前を付けておき、この作業ウィンドウで選択すればよい。

歌詞は次のフレーズが来る前に終了のフェードで消す。

※一つのオブジェクトに複数のアニメーションを設定するときはアニメーションの追加から設定する。今回の場合、テキストボックスに開始のアニメーションが設定されているので、アニメーションの追加から終了のアニメーションを設定する。

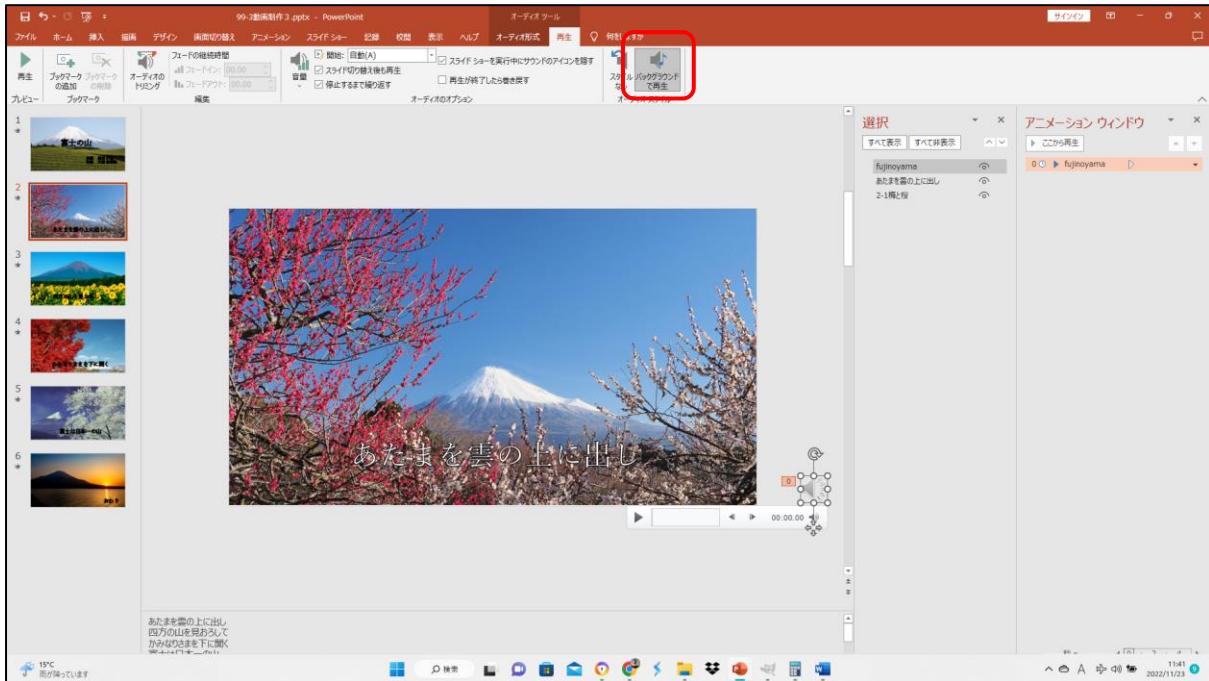


3. フレーズごと、画面切り替え機能を使って、画像と歌詞を切り替える

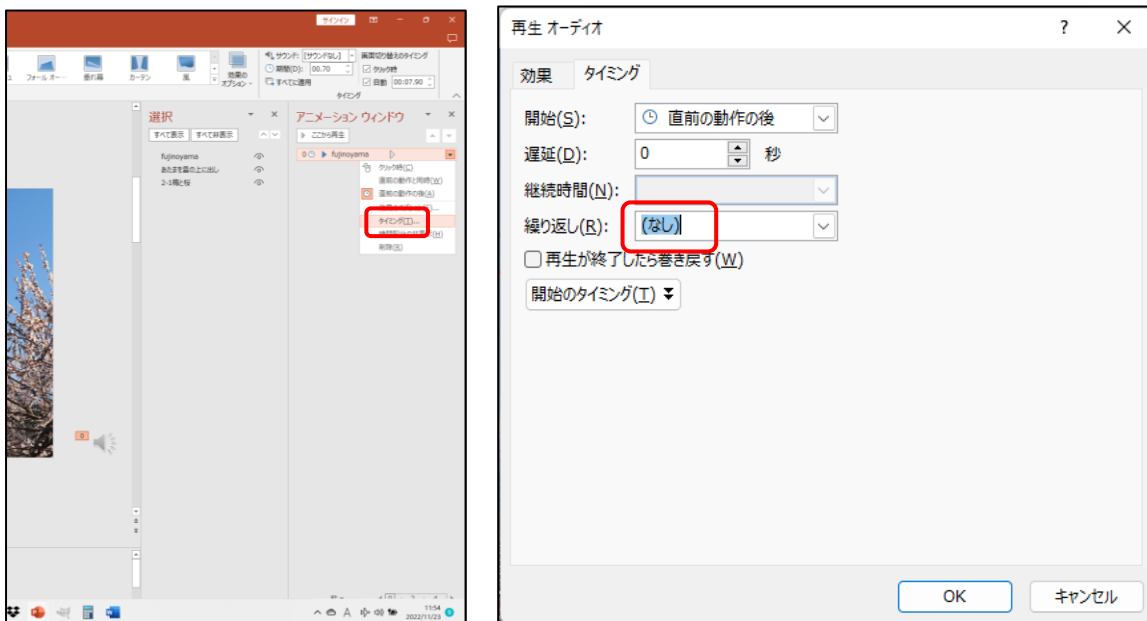
1フレーズに1ページスライドを作り、画像と歌詞を配置して、画面切り替えのフェードを使って、ページを切り替える

<複数ページにわたる音楽の設定方法>

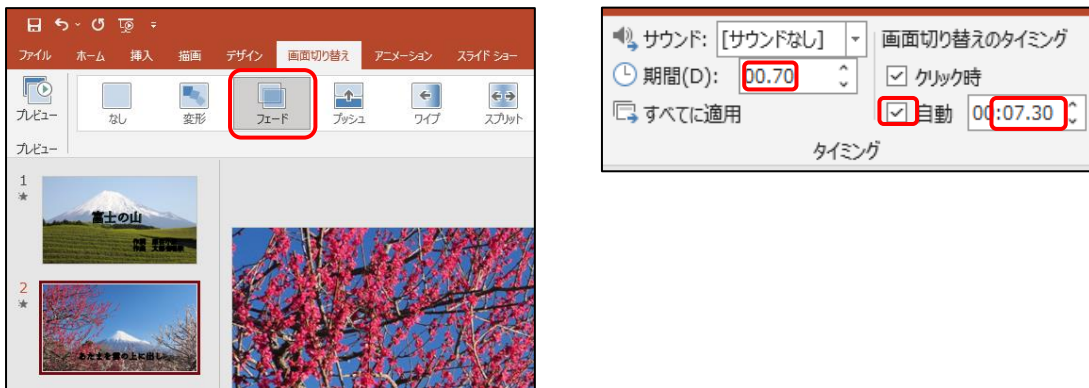
音楽のアイコンを選択して、再生タブの「バックグラウンドで再生」ボタンを押す



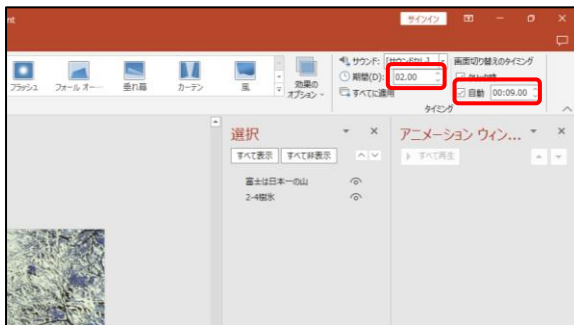
音楽が繰り返し演奏されないように、アニメーションの設定の上で右クリックしてタイミングを選択し、繰り返しの項目を「(なし)」にする。



各ページに画面切り替えの設定をして、画面切り替えのタイミングの自動にチェックして、切り替えにかかる時間とページを表示させる時間を設定する。※テンポ 120 の 1 フレーズなら足した値が 8 になる)



スライドショーを曲が始まる 2 ページ目から開始して、曲に合わせてページが表示されるか確認をして、ページの表示時間を調整する。



※スライドにアニメーションを設定していて、アニメーションの時間がページの画面切り替えの時間より長いときは、アニメーションが終わってから画面が切り替わる。